



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月6日

上場会社名 株式会社リンコーコーポレーション
 コード番号 9355 URL <http://www.rinko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 南波 秀憲
 (氏名) 前山 英人

TEL 025-245-4112

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	13,438	10.0	712	50.4	736	53.9	530	74.1
2018年3月期第3四半期	12,218	1.3	473	△1.5	478	△3.4	304	△20.1

(注)包括利益 2019年3月期第3四半期 45百万円 (△92.0%) 2018年3月期第3四半期 568百万円 (△15.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	196.62	—
2018年3月期第3四半期	112.93	—

(注)当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	36,829	15,005	40.7	5,562.42
2018年3月期	35,664	15,040	42.2	5,575.59

(参考)自己資本 2019年3月期第3四半期 15,005百万円 2018年3月期 15,040百万円

(注)「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,200	6.5	660	44.7	670	48.8	450	1.1	166.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正に関しましては、本日(2019年2月6日)公表いたしました「2019年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	2,700,000 株	2018年3月期	2,700,000 株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	2,394 株	2018年3月期	2,394 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	2,697,606 株	2018年3月期3Q	2,697,634 株

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2018年4月1日から12月31日までの9か月間(以下、当第3四半期)におけるわが国経済は、堅調な企業収益により雇用環境の改善が持続し、設備投資も増加しており、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外経済については、米国との貿易摩擦を背景とした中国の景気減速や、英国のEU離脱問題などの懸念材料がみられるなど、不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループの主要な事業拠点であります新潟港では、一般貨物、コンテナ貨物の取扱数量はともに前年同四半期比で増加いたしました。当社グループの主力である運輸部門におきましても、一般貨物の取扱数量は微減となりましたが、コンテナ貨物は第2四半期に引き続き増加し、取扱数量に連動しない附帯作業も増加するなどにより、収益を押し上げました。また、ホテル事業部門、機械販売部門、商品販売部門も堅調に推移いたしました。

これらの結果、当第3四半期の当社グループの売上高は134億3千8百万円(前年同四半期比10.0%の増収)、営業利益は7億1千2百万円(前年同四半期比50.4%の増益)、経常利益は7億3千6百万円(前年同四半期比53.9%の増益)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億3千万円(前年同四半期比74.1%の増益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(運輸部門)

当社運輸部門と運輸系子会社4社を合わせた同部門の当第3四半期の貨物取扱数量は、前年同四半期比7.9%増加の458万7千トンとなりました。そのうち一般貨物は前年同四半期比1.0%の減少、コンテナ貨物は輸出入ともに堅調に推移し前年同四半期比14.7%の増加となりました。また、一般貨物に関連する附帯作業が増加したことも業績向上に寄与しております。これらの結果、同部門の売上高は79億2千3百万円(前年同四半期比7.4%の増収)となりました。経費面でも取扱貨物量の増加に伴い下払費が増加しましたが、労務や機械の稼働率上昇を背景に作業効率が向上したことから、同部門のセグメント利益は2億4千3百万円(前年同四半期比233.1%の増益)となりました。

(不動産部門)

不動産商品の販売や短期の土地賃貸契約の増加が増収に寄与し、同部門の売上高は2億4千1百万円(前年同四半期比3.2%の増収)、セグメント利益は1億5千3百万円(前年同四半期比5.0%の増益)となりました。

(機械販売部門)

建設機械の販売は、大型案件の受注があり前年同四半期比で大きく増収となり、建設機械や自動車の整備につきましても、部品販売は減少したものの、整備全体としては前年同四半期並みで推移した結果、同部門の売上は12億4千9百万円(前年同四半期比33.6%の増収)、セグメント利益は1百万円(前年同四半期は3百万円の損失)となりました。

(ホテル事業部門)

株式会社ホテル新潟は、宿泊、宴会、レストランの各部門で引き続き好調を維持しており、前年同四半期比で増収増益となりました。また、株式会社ホテル大佐渡は、主に台風の影響で宿泊のキャンセルが発生したこと等により、前年同四半期比で減収減益となりました。

これらの結果、ホテル2社を合わせた同部門の売上高は、24億5千4百万円(前年同四半期比6.0%の増収)、セグメント利益は2億5千2百万円(前年同四半期比16.2%の増益)となりました。

(商品販売部門)

セメントを中心とした建設資材の販売が堅調に推移したほか、貿易代行に係る売上も前年同四半期比で増収となった結果、同部門の売上高は14億3千9百万円(前年同四半期比17.7%の増収)、セグメント利益は3千6百万円(前年同四半期比61.3%の増益)となりました。

(その他)

保険代理店業、産業廃棄物の処理業を合わせたその他の売上高は、2億2千2百万円(前年同四半期比7.7%の減収)、セグメント利益は2千2百万円(前年同四半期比30.3%の増益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末と比べて11億6千5百万円増加し、368億2千9百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び営業未収入金の増加6億3千6百万円、事業用土地を取得したことによる土地の増加11億8百万円、投資有価証券の時価の下落に伴う減少6億5千8百万円などであります。

負債の部は、前連結会計年度末と比べて12億1百万円増加し、218億2千4百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び営業未払金の増加3億9千9百万円、事業用土地の取得に伴う借入金の増加等により、リース債務を除く有利子負債が8億1千万円増加したことなどによるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べて3千5百万円減少し、150億5百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加4億4千9百万円、その他有価証券評価差額金の減少5億9百万円などであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期第3四半期の連結業績は、当社の主力である運輸部門におきまして、コンテナ貨物を中心に貨物取扱数量が増加したことなどにより前年同四半期比で増収増益となりました。また、ホテル事業部門をはじめ、そのほかの部門も概ね堅調に推移いたしました。

通期の連結業績につきましては、第4四半期間の事業環境の動向を踏まえ慎重に検討しました結果、2018年5月10日に決算短信にて公表しました業績予想を以下のとおり上方修正いたしました。

詳細は、2019年2月6日に公表いたしました「2019年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2019年3月期連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)
前回発表予想（A）	16,700	500	480	360
今回修正予想（B）	17,200	660	670	450
増減額（B－A）	500	160	190	90
増減率（％）	3.0	32.0	39.6	25.0
（ご参考）前期実績 （2018年3月期）	16,151	455	450	445

（注）「前回発表予想」は、2018年5月10日付の公表値、「今回修正予想」は2019年2月6日付の公表値であります。

なお、上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	546,969	860,672
受取手形及び営業未収入金	2,943,322	3,579,627
電子記録債権	177,058	199,044
たな卸資産	86,557	95,852
未収還付法人税等	27,968	1,156
その他	252,281	166,339
貸倒引当金	△5,894	△2,694
流動資産合計	4,028,263	4,899,997
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,817,186	21,846,819
減価償却累計額	△15,646,113	△15,917,773
建物及び構築物(純額)	6,171,072	5,929,046
機械装置及び運搬具	2,405,404	2,418,998
減価償却累計額	△2,036,568	△2,078,407
機械装置及び運搬具(純額)	368,835	340,590
土地	20,962,163	22,070,333
リース資産	679,042	755,376
減価償却累計額	△291,127	△359,572
リース資産(純額)	387,915	395,804
建設仮勘定	5,076	115,364
その他	1,208,479	1,215,892
減価償却累計額	△1,058,788	△1,070,809
その他(純額)	149,691	145,083
有形固定資産合計	28,044,754	28,996,223
無形固定資産		
リース資産	49,725	39,847
その他	46,944	58,808
無形固定資産合計	96,669	98,655
投資その他の資産		
投資有価証券	3,153,679	2,495,617
繰延税金資産	108,559	103,380
その他	430,194	436,287
貸倒引当金	△199,510	△200,882
投資その他の資産合計	3,492,923	2,834,403
固定資産合計	31,634,346	31,929,282
繰延資産		
社債発行費	1,457	364
繰延資産合計	1,457	364
資産合計	35,664,068	36,829,644

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,883,854	2,283,102
電子記録債務	24,540	228,208
短期借入金	2,450,000	2,450,000
1年内返済予定の長期借入金	2,754,576	2,751,280
1年内償還予定の社債	100,000	50,000
リース債務	138,230	143,841
未払法人税等	39,895	94,294
賞与引当金	297,129	151,718
その他	820,825	798,283
流動負債合計	8,509,052	8,950,729
固定負債		
社債	50,000	-
長期借入金	4,436,590	5,349,940
リース債務	310,182	306,179
繰延税金負債	1,016,732	940,559
再評価に係る繰延税金負債	4,890,141	4,890,141
退職給付に係る負債	1,053,828	1,043,861
資産除去債務	166,356	168,014
その他	190,445	174,991
固定負債合計	12,114,276	12,873,688
負債合計	20,623,328	21,824,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,950,000	1,950,000
資本剰余金	809,241	809,241
利益剰余金	2,237,935	2,687,410
自己株式	△7,014	△7,014
株主資本合計	4,990,161	5,439,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	826,159	316,629
土地再評価差額金	9,439,626	9,439,626
退職給付に係る調整累計額	△215,207	△190,666
その他の包括利益累計額合計	10,050,577	9,565,588
純資産合計	15,040,739	15,005,226
負債純資産合計	35,664,068	36,829,644

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高		
運輸作業収入	6,638,008	7,169,610
港湾営業収入	142,153	135,179
不動産売上高	215,936	223,332
機械営業収入	881,058	1,218,054
ホテル営業収入	2,310,848	2,448,650
商品売上高	1,197,643	1,409,113
その他の事業収入	833,212	834,729
売上高合計	12,218,861	13,438,669
売上原価		
運輸作業費	6,196,138	6,523,866
港湾営業費	103,467	91,165
不動産売上原価	76,181	80,600
機械営業費	820,242	1,154,786
ホテル営業費	1,821,278	1,928,415
商品売上原価	1,165,052	1,361,920
その他の事業費用	543,340	548,557
売上原価合計	10,725,700	11,689,312
売上総利益	1,493,160	1,749,357
販売費及び一般管理費	1,019,399	1,036,726
営業利益	473,761	712,631
営業外収益		
受取利息	36	53
受取配当金	60,789	71,878
雑収入	16,152	17,537
営業外収益合計	76,979	89,468
営業外費用		
支払利息	67,975	64,065
雑支出	4,127	1,621
営業外費用合計	72,102	65,686
経常利益	478,637	736,413
特別利益		
固定資産売却益	142,020	753
特別利益合計	142,020	753
特別損失		
固定資産処分損	29,671	13,289
投資有価証券評価損	—	450
減損損失	178,625	10,481
特別損失合計	208,296	24,220
税金等調整前四半期純利益	412,361	712,946
法人税、住民税及び事業税	50,462	114,298
法人税等調整額	57,257	68,244
法人税等合計	107,719	182,542
四半期純利益	304,642	530,403
親会社株主に帰属する四半期純利益	304,642	530,403

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	304,642	530,403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	257,323	△509,529
退職給付に係る調整額	6,536	24,540
その他の包括利益合計	263,859	△484,988
四半期包括利益	568,501	45,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	568,501	45,415

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売部門	ホテル事業部門	商品販売部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	7,373,631	215,936	881,058	2,310,848	1,197,643	11,979,117	239,744	12,218,861
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,234	18,498	54,491	5,347	25,297	108,869	1,027	109,896
計	7,378,865	234,434	935,549	2,316,196	1,222,940	12,087,986	240,771	12,328,758
セグメント利益又は損失(△)	73,060	146,137	△3,748	217,410	22,609	455,470	17,386	472,857

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、OA機器の販売、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	455,470
「その他」の区分の利益	17,386
セグメント間取引消去	556
その他の調整額	348
四半期連結損益計算書の営業利益	473,761

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当社は、2017年9月29日開催の取締役会において、固定資産の譲渡を決議したことに伴い、当第3四半期連結累計期間において、「不動産部門」の賃貸不動産について164,343千円、セグメントに帰属しない全社資産について14,281千円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売部門	ホテル事業部門	商品販売部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	7,917,238	223,332	1,218,054	2,448,650	1,409,113	13,216,388	222,281	13,438,669
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,922	18,498	31,590	5,722	30,772	92,506	20	92,526
計	7,923,160	241,830	1,249,644	2,454,373	1,439,886	13,308,894	222,301	13,531,196
セグメント利益	243,353	153,507	1,981	252,627	36,463	687,933	22,647	710,581

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	687,933
「その他」の区分の利益	22,647
セグメント間取引消去	1,696
その他の調整額	354
四半期連結損益計算書の営業利益	712,631

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。